

令和元年度 第3回図書館協議会 会議録

◎開催日時 令和2年(2020年)1月9日(木)午後7時~9時

◎開催場所 野洲図書館 会議室

◎出席者 早川久登委員、松山裕子委員、五十嵐芳子委員、遠藤正一委員、川端初美委員、國松完二委員、下谷龍王委員、山本宗司委員、吉野澄子委員(合計9名出席、高野真知子委員欠席)

図書館長、専門員(司書)、司書

傍聴者 なし

*配布資料について

ここに掲載した以外の資料については、図書館本館および中主分館で、図書館協議会議事録とともに公開しています。

1. 開会

2. 議事

*進行の都合で次第の議事(3)(5)を先に協議

◆今年度行事の報告について(次第(3))

11月~12月の図書館行事の「図書館まつり」「山本淳子さんわらべうたの会、講演会」「図書館コンサート」について事務局より説明

【委員】「図書館まつりでの「図書館ツアー」「館長によるお話・質問タイム」のプログラムでの参加者からの質問はどんなものがあったのか?

【事務局】図書館ツアーでは特に質問はなかった。質問タイムでは、事前に質問箱を設置し受け付けていた。当日の参加者からも様々な質問があった。紹介します。「進化する図書館、と言われることもあるが、日常はどういう形でやっているか。大きな企画は難しいが、本を読む意欲を持ってもらうようなことをしているか」「本は市民の財産。内容の古くなった本の入れ替えは当たり前。除籍の基準はどのようなものか」「草津ではブックポストは駅にあるが、同じようにできないか」「司書はどういう方法で本に関して勉強しているか」「購入する本はどうやって決めるか」「司書はこんな本が読みたい等の相談にのってくれるか」「書庫の広さ、何冊置いているか」「図書館はなぜ無料で本を貸してくれるのか」等です。親子でも1組参加がありました。

◆利用者アンケート、市長への手紙、等について(次第(5))

【事務局】(利用者アンケート、市長への手紙、システム改善状況、職員派遣研修、図書館関係の新聞記事(配布資料)について事務局より説明)

利用者アンケートを今年度も実施予定です。日程は2月21日(金)、22日(土)に来館者全員に依頼し、その後2週間程度常設で設置する予定です。

市長への手紙で、図書館のホームページのアクセスが非常に遅いという苦情がきた件について。

11月初めに図書館ホームページが断続的に切れたり遅くなる状況が発生し、他の市民からも苦情がありました。調べたところ、図書館のデータはクラウドで運用していますが、データセンターの機器の容量が足りなくなり、機器交換をしてもらい改善しました。

コンピュータシステムの改善状況について報告します。前回ご報告したように、システムの変更の際に、本のデータの移行がうまくいっていない等の不具合があります。たとえば外国人著者の作品を検索すると、著者名が日本語ではなくアルファベットでしか表示されない等です。現在まだ改善されていませんが、改善の目途が立ちましたので、不具合が解消できる見込みです。

職員の派遣研修について報告します。おとし採用した新任の職員2名を県立図書館と県内他市の図書館に派遣研修に行かせました。2名とも県立図書館と他市の図書館、両方に派遣して研修させることとして、昨年と今年で実施しています。今年は、県立図書館に野洲図書館の職員を派遣した同じ期間に、県立図書館の職員が野洲図書館に研修に来ました。

【委員】職員研修は1人1回だけですか。大規模・中規模など、規模により図書館の状況が違う。いろいろな図書館を経験した方が良いのではないですか。

【館長】できるとよいのですが、野洲の業務もあるので、あまり頻繁には出せない。

【委員】ちょっとした人事交流とかですか。できることはできるのですか。

【館長】できます。以前にも県と野洲で職員を2年間交換していたことがあります。野洲から一方的に出すと野洲図書館の人手が足りなくなります。

【委員】市長への手紙の件だが、他の図書館でも同じようなことが起こったのか？

【事務局】そうです。野洲だけではなく全国でこの業者と契約している図書館で同じ状況が起きていました。利用者からの声で発覚し、業者に連絡をしたものです。県立図書館のホームページで横断検索すると NEC の図書館が軒並み接続できない状況になっていてわかりました。

【委員】研修についてですが、湖南4市の繋がりがあがるが、その中で研修はできなかったのか。東近江市もよいが、図書館の実情はそれぞれ違う。4市内で職員を出し合うということではできないのですか。守山市の新館が開館した時、自習室については批判の声が多い。そういうことについて話し合いをしたりはしないのですか。

【館長】湖南4市の担当者会議はしており、情報交換はしています。

【委員】自習室や自動貸出機など、滋賀県内で批判していることを実践している図書館の声を聞こえてこない。その図書館の実情を聞くことができない。

【館長】どういう経緯で入れたかは聞いているので批判しにくいところはあります。館内でもどう考えるかしっかり話し合っていない。野洲図書館でもフリースペースは自習ができるようにしています。

【委員】自習室はわかるが、自動貸出機の導入はなぜいけないのですか。スーパーでもセルフレジがある。効率が良くなってよいことだと思っていました。

【委員】貸出しは昔は対面でしていた。窓口での職員との対話で利用者の求めているものも見えてきます。利用者とのコミュニケーションは大事です。子どもたちの読書状況も見える。よその県では利用者全体の7割以上が利用し、職員も自動貸出機の方へ誘導しているという例もあるようです。

【委員】行き過ぎは良くないと思うが。守山で実際使っているが、3回に1回くらいは読み取ってくれなくて窓口に行くことがよくある。

【委員】図書館の利用者数としては、AI(自動貸出)と人とどちらが有効なのか。

【委員】今のところは新しく図書館を建てたのを機に導入しているところが多い。草津は去年から入れたが、職員からは積極的に勧めていないようです。

【委員】国の施策で、司書は将来 AI に替わる職種として出している。司書は AI にとって替わるものではない。維新の会は図書館は貸出のみで AI に替えられると言っている。

【委員】野洲は5年計画、10年計画の中で自動貸出機にする予定はないのか？

【館長】ありません。導入するためには IC チップをすべての本に貼らなければいけない。そのコストは数千万円かかります。その分を資料費に回した方がよい。

◆平成 30 年度図書館の評価について(外部評価) (次第(1))

(前回会議で協議した外部評価の最終確認。)

【会長】項目3の貸出については全国平均的には野洲市の数値は高いのですが、目標に届いていないので C。目標数値を野洲市民だけにすればよかったのですが、いまから変えられないのでそのままとします。

【会長】項目8の問い合わせ件数については、格段に増えている。2年で千件ということは1年で500件。これを見ると司書を AI に置き換えられるのは困るなあと思う。

◆図書館の利用状況の推移について(次第(2))

【会長】利用者数が減っていることについて話し合いたい。

【事務局】(資料②③について説明)

資料②は今年度途中のため4月から12月までの統計。

前年度比がかなり落ち込んでいる。地域別統計などをあわせながら検討する必要がある。

前年度比の4月が増加し6月が減少しているのは、例年4月に行っている蔵書点検を6月にしたため。6月にコンピュータシステムの入れ替えもあり2週間休館した影響です。4月と6月を足して比較してみました。それでもやはり減っています。地域別の統計では、守山がオープンしたので守山市民の利用が減るのはわかるが、野洲市民が減っているのが問題です。

例年1月2月は貸出が減る。この推計よりも減る可能性があります。資料にはないが予約も統計を出しましたが、こちらも減っている。

「転入者数と新規登録者数」は外部評価の項目7でご指摘頂いたのでデータを出してみました。転入者の中にはすでにカードを持っている人もいるかと思うので、純粋に新規とは言えない。

資料③年代別貸出冊数(市民)について。利用が多いところに色をつけてみました。現在40代の方は20代の頃に野洲図書館がオープンして、図書館に来ている。車もあり、うまく生活サイクルに図書館が合い、継続して利用してくれている。(資料の表で)色のついていない(利用が少ない)ところをどうするかが課題。

【会長】資料④について。

*ボランティア団体「楡の樹の会」で作成したもの(会長が会員)

30歳から49歳までの年代がかなり減っている。10年経って50代に移ったとも言えますが。男女別で出していないからわからないが、子どもを連れてくる人が減っているのでしょうか？ただ子どもは減っていない。

子どもの 1 人あたり貸出冊数が増えているのか、子どもの分だけ大人が借りに来ているのか、お母さんたちが借りなくなっているのかを見るため分野別でも比較した。料理などのくらしの本は技術工学に入るとのこと。この分野は減っている。ただ、今はクックパッド等を見て、料理の本は借りないのかもしれない。

【委員】4月6月が減っているのはわかるが、9月が前年より減ったのはなぜですか。

【事務局】去年9月は多かった。守山市が8月から仮設図書館も休館した。そのアップダウンがあるのではないかと思います。

【委員】私は野洲の中でも辺鄙なところに住んでいる。図書館に行く手段がない。北部合同庁舎、中主分館まで行くのも大変です。お年寄りでも運転できる方は行けませんが、そうでない人は行けない。私の希望は、コミセンあたりに本を置いていただくことはできないかということです。去年も図書館協議会の場でお願いしましたが、人件費の問題で難しいと言われました。守山は公民館に本を置いておられると聞いた。こういうところに置いてもらえると図書館に足を向けるきっかけになる。

【委員】このまえ、野洲図書館の雑誌コーナーで親子連れの会話が聞こえてきました。母親が娘(中学生くらい)に本を薦めているようだったが、娘は「読みたいものがない」と言っていました。確かにこの年齢が読みたい雑誌がない。私たち世代向けのもので埋め尽くされている。他の図書館でもそうだが、若者向けのを置いていないのは何か理由があるのですか。何か斬新なことをしてみた方が良いのではないのでしょうか。若者が図書館に行く魅力、行く理由がないのではないか。考えた方が良い。中高生が図書館に興味を持っていない。

【事務局】中高生向けの雑誌は奥の方、YAコーナーの新着棚の裏に数冊置いている。『ニコラ』や『ニュータイプ』など。

【委員】会議の1回目の時に中高生のニーズを聞くという話があったかと思うが。

【委員】遠い方が図書館に来る手段がない、という話をよく聞きます。「おのりやす」は日曜は1本もない。近江バスは図書館に止まらない。12月の図書館でのコンサートの時も車に乗れない参加者の方から駅からの移動手段がないという声を聞きました。車がないのに来てくれた人がいて、どうやってきたのか聞くと「駅から歩いた」と言っていました。私の周りのお母さんでも車に乗らないという人も結構いる。本を読まない人が多いのかと思ったが、そうでもないようです。TVでお寺にあるミニライブラリーを利用しているという話題を見ました。本を読みたいが図書館に行けないという人が結構いると思う。

【委員】人件費のことを言われるとつらいが、お年寄りも読みたいが図書館までの交通手段がない。場所が遠いというのがネックになっている。本との出会いの場を作ってほしい。

【委員】おのりやすは図書館の問題だけではないと思う。一度乗ったが、目的地まで時間がかかりすぎる。使い勝手が悪い。もっとみんなが使って乗車率も上がるような工夫をしなければ、悪循環になる。

【委員】守山市が公民館に本を置いているという話があったが、移動図書館のようなことはできないですか。希望を取って、公民館に本を持って行って貸出するということはできないのでしょうか。

【館長】団体貸出を利用することができると思います。地域で要望があれば、そこに本を持って行って貸出することが可能だと思う。学校にも出張貸出に行っています。管理してくれる人がいれば。

【委員】草の根文庫があった時の部屋が残っています。利用できるのではないかな。

【委員】団体貸出を利用する方法はあるということですか。管理してくれる人がいれば？

【館長】そうです。

【委員】ボランティアのような方、交代で管理してくれる人がいれば。協力したいという人はいるのではないのでしょうか。

【事務局】ただ、地域の方に負担がかかってくるのではないのでしょうか。草の根文庫は、地域の方が持ち回りで管理してくれていました。負担が大きかったと思います。自発的にやりたいという声があがればよいのですが。その前に、図書館から団体貸出等、こういうことができるということは、何らかの案内をした方が良くもありません。

【委員】若者のことばかりになりますが、学校でも子どもたちが本を読まないような印象はあるのですか。

【委員】子どもたちは学校の図書室はよく利用しているなどと思って見えています。

【委員】自分の本を持っている子は持っているが、図書館には行っていない。若者たちと図書館とのかわりが問題です。

【委員】篠原小学校は図書費を学年で分けて、新刊だと高いので、ブックオフで担任が本を買ってきて、図書室の本と混ざらないように学級文庫に入れています。5年程で入れ替えをします。買いに行くときには、何が人気があるのかを意識しています。本屋に行くときと流行りのもので特集コーナーを作っています。大河ドラマなど、今なら明智光秀とか、読んでみたいと思います。図書館でも同じようなことをしていると思いますが、子どもには伝わっていない。中学生は本を読みたいとは思っているが図書館には行けない。身近に持っていくと「読みたかった」という。

【委員】図書館の評価を見ると団体貸出も減っていますが。

【委員】小学校に図書館からブックトークに来てくれると子どもの目が違う。すごいと思う。来てくれた影響はあると思う。

【委員】野洲は学校司書の配置がない。県内で野洲だけですか。

【館長】野洲と甲良です。

【委員】甲良は小さい町だから。学校図書室に人がいるとかなり変わります。子どもたちは学校図書室が一番使いやすい。学校が終わってから他には行きにくい。学校図書室に人が入ってもらいたい。違う。学校司書を置くように法律が変わりました。学校司書は事務職員の扱いになるので、人件費を国ではなく自治体が持たなければいけなくなって、置かないということになる。学校への公共図書館からの支援も限界があると思います。

◆滋賀県図書館協議会交流会について(次第(4))

11月16日(土)県立図書館で開催。野洲市からは、図書館協議会委員4名、職員1名参加。

【委員】(県内図書館の事例発表の)カフェの方の話もおもしろかったし、道中の行き帰りの話も楽しかった。図書館のお泊り会の詳しい話などがいろいろ聞いた。

【委員】仕事柄、福祉のことに興味があります。野洲のにつこりさんとの関係、距離感も能登川と変わらない感じがする。蒲生図書館では重度の障害のある方に読み聞かせをすることを定期的にされていると聞いた。グループ討議ではいつも、他市の参加者から野洲はいいねと言われます。

【委員】グループ討議で、野洲の図書館協議会では貸出などの数字についての話で長い時間を取っているという話をしたら、東近江の方から「数字に踊らされているのではないか」と言われた。公共図書館の環境というものを考えた方が良くはないか。でも野洲は雰囲気が良いねと言ってくださった。野洲には学校図書館司書がないという現実を突きつけられる気がします。

【委員】交流会は楽しい。いろんな人と話ができます。PTAの方が来られていて、学校が終わったら図書館に運んでくれるバスがあればいいねという話をされていた。それから、ブックポストがあると本を借りなくなるという話もありました。返すために図書館に行くから次にも借りるけれど、ブックポストだと返すだけで終わってしまうからということです。

【委員】能登川の手話カフェにはよく行きます。終わってから図書館に行かれる方も多い。能登川は北の方なので湖南地域にも手話カフェが欲しいという話もある。野洲図書館は手話カフェとして使えますか。

【館長】主になってまとめてくださる方がいらっしゃれば使えます。

【会長】図書館評価の方は慣れてきたので早く終わらせて、今日のような議論をまたしましょう。

令和元年度 第3回図書館協議会 次第

令和2年1月9日(木)

野洲図書館 本館

午後7時より

1. 開 会

2. 議 事

- (1) 平成30年度図書館の評価について(外部評価)
- (2) 図書館の利用状況の推移について
- (3) 今年度行事の報告について
 - ・ 図書館まつり
 - ・ 山本淳子さんわらべうたの会、講演会
 - ・ 図書館コンサート ほか
- (4) 図書館事業滋賀県図書館協議会交流会について
- (5) その他
 - ・ 利用者アンケートの実施について
 - ・ 市長への手紙ほか利用者からのご意見について
 - ・ コンピュータシステムの改善状況について
 - ・ 職員派遣研修について
 - ・ その他

* 次回の会議予定

3. 閉 会

配布資料一覧

事前送付資料

- ① 図書館の評価（外部評価）

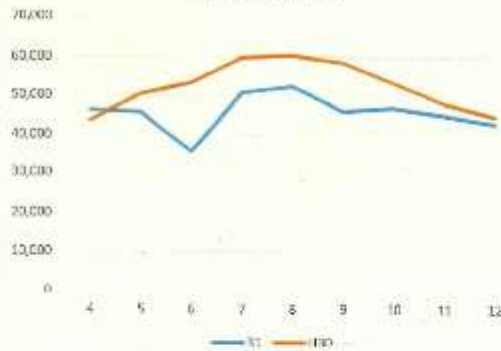
当日配布資料

- ② 令和元年度4月～12月利用状況
- ③ 出生年別利用状況（市民）
- ④ 年代別貸出冊数推移
- ⑤ 図書館だより 1月号
- ⑥ 次回会議日程調整表
- ⑦ 図書館関係記事

①月別貸出冊数

	本館	中主	R1	前年比	H30
4	43,044	3,229	46,273	5.9%	43,693
5	42,205	3,497	45,702	-9.2%	50,316
6	32,450	2,986	35,436	-33.3%	53,162
7	46,796	3,727	50,525	-15.5%	59,772
8	46,233	3,901	52,134	-13.6%	60,315
9	42,522	3,270	45,792	-21.8%	58,526
10	42,981	3,653	46,634	-12.2%	53,093
11	41,037	3,826	44,865	-6.0%	47,734
12	39,306	3,511	42,785	-4.1%	44,635
合計	378,576	31,632	410,146	-13.0%	471,248

月別貸出冊数



②地域別貸出冊数

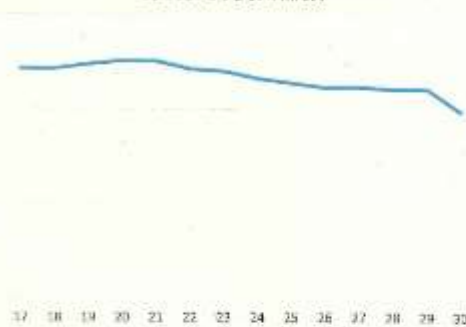
	2019/4~12月			今年度推計	前年比推計	前年度
	本館	中主	合計			
市民	327,415	25,886	353,301	471,068	-6.0%	501,340
守山	36,484	4,892	41,378	55,168	-39.5%	91,140
草津	2,253	265	2,518	3,357	-34.0%	5,088
栗東	2,465	39	2,504	3,339	-23.3%	4,351
広域計	41,202	5,186	46,388	61,884	-36.5%	100,579
その他	10,184	454	10,618	14,157	6.0%	12,987
合計	378,781	31,536	410,317	547,289	-11.0%	614,906

* 在住地別の統計。この表の広域利用の人には在勤、在学が含まれる。
* ①の表と②の表の数値が統計上の誤差で一致していない。

③ 1回あたり貸出冊数

年度	1回あたり冊数			貸出冊数		
	本館	中主	合計	本館+分室中主	合計	
17	4.9	3.9	4.8	669,254	20,031	689,285
18	4.9	4.3	4.9	678,956	27,212	706,068
19	5.0	4.4	4.9	694,884	27,517	722,401
20	5.1	4.4	5.0	731,217	30,603	761,820
21	5.1	4.2	5.0	750,426	31,439	781,864
22	4.9	4.2	4.8	726,285	33,407	759,692
23	4.8	4.3	4.8	730,368	36,872	767,040
24	4.7	4.0	4.6	708,943	31,584	741,527
25	4.6	4.1	4.5	664,050	46,001	710,051
26	4.5	3.8	4.5	631,611	44,533	676,144
27	4.5	3.8	4.5	627,737	46,385	674,122
28	4.5	3.8	4.4	599,711	46,442	646,153
29	4.5	3.8	4.4	594,798	44,722	639,520
30	4.4	3.8	4.4	562,769	62,146	614,906

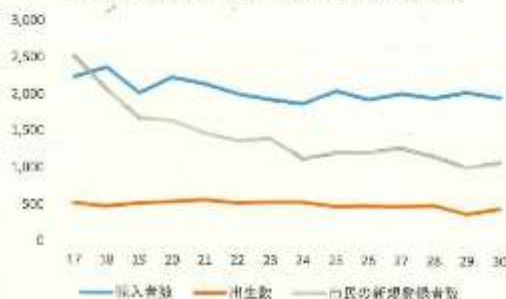
1回あたり貸出冊数



④転入者数と新規登録者数

年度	転入者数	出生数	合計	市民の新規登録者数	比率
17	2,240	533	2,773	2,518	90.8%
18	2,373	485	2,858	2,074	72.6%
19	2,325	530	2,855	1,881	65.8%
20	2,242	548	2,790	1,647	59.0%
21	2,155	576	2,731	1,473	53.9%
22	2,019	537	2,556	1,373	53.7%
23	1,939	547	2,486	1,396	56.2%
24	1,886	550	2,436	1,136	46.6%
25	2,064	482	2,556	1,216	47.6%
26	1,947	504	2,451	1,219	49.7%
27	2,030	498	2,528	1,281	50.7%
28	1,972	512	2,484	1,173	47.2%
29	2,056	396	2,452	1,028	41.9%
30	1,984	488	2,452	1,092	44.5%

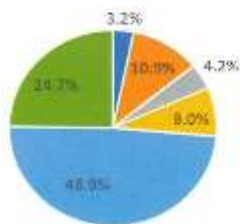
転入者数、出生数、市民の新規登録者数



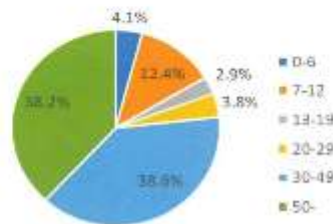
野洲図書館 年代別貸出冊数推移(2008年から2018年)



年代別貸出比率 (2008年)



年代別貸出比率 (2018年)



2008年→2018年 29歳以下:3%減、30~49歳:10%減、50歳以上:13%増

分野別貸出推移

	2008	2018	'18/'08
総記	7,101	5,297	75%
哲学・宗教	15,968	13,190	83%
歴史・地理	37,061	31,773	86%
社会科学	35,582	28,233	79%
自然科学	21,792	21,835	100%
技術・工学	77,675	55,209	71%
産業	15,113	10,457	69%
芸術・美術	79,108	42,702	54%
言語	7,205	6,061	84%
文学	154,921	131,914	85%
計	451,526	346,671	77%